
【短編】鈍感な紳士

暇 隣人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【短編】鈍感な紳士

【コード】

N8897Q

【作者名】

暇 隣人

【あらすじ】

I love Valentine's day, very much! :)
But, I have never gotten the chocolate on this day... LOL XD

(前書)

I love Valentine's day, very much!
But, I have never gotten the chocolate on this day... LOL XD

最近、巷ではバレンタインなるものが流行っているらしいのですが、残念ながら私には興味がありません。

どうして人という生き物は、こういう記念日のようなものに固執したがるのでしょうか。私には不思議でなりません と、幼馴染からもらったチョコレートを食べながら、私は毎年そう思うのです。

……え？ お前も十分楽しんでるじゃないか、ですって？ ええと、よく意味が分かりませんが……。

え、このチョコですか？ これもねえ、幼馴染がなぜだか毎年この日にくれるんですけれども、私には不可解なんですよ……何かの記念でもあるまいし、私の誕生日なんてもつと季節外れで。

でもほら、一応もらい物なわけですから、やっぱり食べないと申し訳ないじゃあないですか。あいにく、あげられるような兄弟もいませんから……。

って、どうしてそんな怖い目で見るんですか？ チョコがほしいならあげますけど。あ、いらないますかそうですか。

いやあ、それにしてもねえ。一つだけ、気になることがありますね。

今年のチョコはいつもと違うんですよ。いつもは市販をそのまま渡されたり、丸や四角にかたどられたチョコだけだったんですが。

何を思ったのか、今年はハート型なんですよねえ。

そういえば、渡すときもすごく赤くなって緊張してましたし。あれはなんだったんでしょう……。

まあ、とてもおいしいですから十分満足していますよ、ええ。

ところでそういうあなたは……ああ、よかった。もらってないんですね。あなたもバレンタインには興味がない方のように、安心しました。

ちょっと一緒に語り合おうじゃありませんか……ってあれ？

あ、嫌ですか、そうですか……まあ私でよければいつでもお待ちしていますよ。バレンタインなんて愚かな風習、私は決して認めることはないでしょうから。

それでは、またいつかお会いしましょう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8897q/>

【短編】鈍感な紳士

2011年10月8日13時54分発行